

(その三)

工場又は事業場の名称	ライオン株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3	9	9	9						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1 について

- 合成洗剤製造工程の改善による、VOC発生量の削減。

対策 2 について

- 合成洗剤中の組成改善による、VOC発生量の削減。

(その四)

工場又は事業場の名称	ライオン株式会社 千葉工場
------------	------------------

### (3) 自主的取組実績の評価

#### ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

Handwriting practice lines consisting of five sets of horizontal dashed lines for letter formation.

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

5 計画年度の削減率の実績値は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  
{(基準年度の排出等の量-計画年度の排出等の量) / 基準年度の排出等の量} × 100  
(その三)

工場又は事業場の名称 星光PMC株式会社  
千葉工場

## (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	9	5	2						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1について

---

39 : ISO14001 VOC削減計画の実行

---

: タンクローリー車で屋外タンクに原料を納入する時、均圧管設置し対応

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

(その四)

工場又は事業場の名称	星光PMC株式会社 千葉工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（この部分は記載例用のフォームです。実際の記載用紙では、この範囲が空欄で用意されています。）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	D I C 株式会社 D I C 株式会社千葉工場
------------	------------------------------

#### (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	1	2	1	2	3	3	1	4	1

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

Handwriting practice lines consisting of four horizontal lines per row. The top and bottom lines are solid, while the middle two are dashed.

(その四)

工場又は事業場の名称 D I C 株式会社  
D I C 株式会社千葉工場

### (3) 自主的取組実績の評価

#### ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
(A)	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日本曹達株式会社 千葉工場
------------	------------------

## (2) 振発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	1	5	1	5	2	5	3		

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

工場又は事業場の名称 日本曹達株式会社  
千葉工場

### (3) 自主的取組実績の評価

#### ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる。 (一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた。 (一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成でき た。 (一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

**備考** この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	住友化学株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 振発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	2	5	6	5	9				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 2

当千葉工場の合成ゴムプラントで排出される、n-ヘキサンについて蓄熱燃焼設備の設置工事は平成21年5月末に完成したので、平成20年度の削減寄与はなかった。  
平成21年度より排出量の削減に寄与する。

対策 3

当千葉工場の高圧ポリエチレンのペレットサイロから排出される酢酸ビニルについて、サイロの排出ベント配管を、ボイラーの燃焼空気に接続して酢酸ビニルを燃焼させている。  
平成19年10月に工事が完成し、平成20年2月より処理を開始した。

(その四)

工場又は事業場の名称	住友化学株式会社 千葉工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

平成20年度の大気排出量を2300t／年と高い目標に計画しておりました。

工場の稼働率が低下して、スタート・ストップの回数が増加したため、計画して

いた削減目標を達成出来ませんでした。

平成21年度は、n-ヘキサンの除去装置（蓄熱燃焼設備）が21年5月に完成

して、現在試運転中です。除去率も設計通りの数値となっており、平成21年度

は大幅な削減が見込まれています。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	広栄化学工業株式会社 工場（姉崎地区）
------------	------------------------

（2）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	9	/							

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

VOC成分を除去する工程の改善を行った。

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

（記入欄）

(その四)

工場又は事業場の名称	広栄化学工業株式会社 工場（姉崎地区）
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
Ⓐ	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（記載欄）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 市原工場
------------	------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
23<	31✓	32✓	34✓	51✓	52✓	53✓	54✓	55✓	

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 市原工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
Ⓐ A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
Ⓑ B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。
Ⓒ C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 東レ・ダウコーニング㈱  
千葉工場

#### (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	東レ・ダウコーニング㈱ 千葉工場
------------	---------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（記入欄）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事 業場の名称	三井造船株式会社 千葉事業所
----------------	-------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	2	1	9	2	2	5	4		

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

建造船居住区内（屋内）で使用する塗料の一部を水性塗料へ切替え
造船工業会にてVOC削減対策を推進しているが、造船業においては工事量の増減によるVOC排出量の変動が著しいため、同型船でのVOC使用量にて評価することとしている。
従って、目標年度ならびに計画年度では、基準年度との工事量の違いによりVOC使用量・排出量はともに増加するが、ハイソリッド塗料及び水性塗料への切替え、塗装作業の効率化による塗料使用量削減、直接燃焼装置による排出量削減等の対策により、塗装面積当たりのVOC排出量を目標年度までに約20%削減することを目標としている。

(その四)

工場又は事業場の名称	三井造船株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、

該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

評価としては同型船での塗料量となるが、基準年度(H13年度10隻)より計画年度(H20年度14隻)の工事量は増加しており、使用量・排出量共に増加している。
課題 1、発注主に対し低VOC塗料の使用を勧めているが、現在建造中の船は3年前程度に受注の為、切り替えに時間がかかる
2、年間塗料使用予量を設計で算出するが、2012年より国際海事機関による船舶の保守を容易にする為の基準(塗料膜厚が約1.4倍に強化される)に対応する為の準備対応に向けた発注主からの要望もあり、塗料使用量が増加している
対策 1、今後も受注船に関しては出来るだけハイソリッド塗料・水性塗料への切替えを提案 2、設計段階でのハイソリッド塗料・水性塗料へ積極的な取り込みと使用予測精度の向上 3、新塗装基準に対応した塗装作業時の効率的運用、直接燃焼装置による排出量削減 以上の対策にて、塗装面積当たりの排出量削減を目指す

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

古河電気工業株式会社  
千葉事業所

#### (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1	1	5	3						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

古河電気工業株式会社  
千葉事業所

### (3) 自主的取組実績の評価

#### ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

Handwriting practice lines consisting of three horizontal dashed lines for letter formation.

**備考** この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	出光興産株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 撃発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	1	4	1	5	1				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

○ 出光興産(株)千葉工場では、これまでに固定屋根式タンクを内部浮屋根式タンクへ変更

した。また、排ガス中の揮発性有機化合物を吸着剤に吸着回収する等の設備を設置し、

大気中への排出を抑制している。

今後は、更にポンプ軸封構造を改善し、大気中への飛散量を抑制する事にも取り組んで行く。

(その四)

工場又は事業場の名称 出光興産株式会社  
千葉工場

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

**備考** 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

Handwriting practice lines consisting of three horizontal dashed lines for each row.

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社プライムポリマー 姉崎工場
------------	----------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	3								

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(株) プライムポリマー姉崎工場では、基準年度以前から貯蔵タンクの排出口に凝縮器を設置し、排ガス中の揮発性有機化合物を冷却して凝縮液化回収する事で、大気中の排出抑制に努めている。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社プライムポリマー 姉崎工場
------------	----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

○ 備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

本年度の、具体的排出削減は有りませんが、活動として以下がありました。

ポリプロピレン装置 パウダー乾燥サイロのVOC（揮発性有機化合物）を、

2010年度までに、ヘプタン82,000Kg/年を回収する改善案

を検討し基本設計まで終了した。

但し、自社の経営環境変化から、設備化完工を2013年に延期した。

以上

○ 備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	B A S F 出光株式会社 千葉工場
------------	------------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	4	5	5						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

B A S F 出光株式会社 千葉工場では、基準年度以前から、直接的な燃焼処理や触媒を使った接触酸化により、揮発性有機化合物を炭酸ガスと水蒸気に変え、大気中への排出制御に努めている。

○

○

○

○

(その四)

工場又は事業場の名称	B A S F 出光株式会社 千葉工場
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
Ⓐ	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

実績処理回収率が100%でかつ計画年度の排出量の実績値が600kg未満である。

（記載用欄）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

工場又は事業場の名称 PSジャパン株式会社  
市原工場

#### (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

P S ジャパン(徳島市原工場では、基準年度以前からVOC排出口は凝縮器設置により回収を行い排出削減に努めている。これを継続して行く。

(その四)

工場又は事業場の名称	PSジャパン株式会社 市原工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

○ 備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

20年度は稼働調整で排出量が少なかったが、22年度目標の680Kg/y以下を目標に取り組んで行く。

○ 備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4	1	5	2	5	9				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

○ 対策2の第1陸上出荷場（ローリー出荷）及び第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）における揮発油の積み込み時に発生するVOC対策としてVOC回収装置（吸収溶剤：灯油）を既に設置しており（第1：昭和63年、第2：平成2年）、これを維持・管理し、VOC回収率85%以上で運用した。また、対策1として、現在、原油、揮発油（製品ガソリン、中間ガソリン、ナフサ等）、JET燃料のタンクは全て浮き屋根式及び内部浮き屋根式であり、タンクのVOC対策は、本条例の基準年度以前に全て完了しており、これらのVOC対策済タンクの維持・管理を確実に実施した。対策3のその他として、少しでもVOC吸収を改善する為に、夏期に対策2の吸収設備に冷却散水を実施した。VOC対策対象施設の対策は全て本条例の基準年度以前に完了しており、その後、生産設備を増強しており、VOC対策を確実に実施・継続しているが、基準年以降、ガソリンの出荷量等が増加している為、基準年に對してはVOC発生量が増加せざるを得なかった。

(その四)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

昭和63年、平成2年に、陸上出荷のVOC回収装置は導入済であり、タンクもVOC関連タンクは、全て浮き屋根式及び内部浮き屋根式であり、VOC対策は基準年のH12年以前に全て完了している。この為、VOC対策設備の維持・管理を確実に実施する。また、夏期、少しでも回収効率を上げる為に、VOC回収装置に対し冷却散水を実施する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	9	3	1	5	9				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策 1】について

安定操業に努めました。

【対策 3】について

廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収しました。

(その四)

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（記入欄）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 五井工場
------------	--------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	9	3	1	5	1				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策 1】について

- ・生産工程からの発生（揮散）を減少させました。

(その四)

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 五井工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

- ・生産量減少に伴い、VOCの使用量が減ったことから、大気への排出量も減ったという側面はあるが、目標年度の達成に向けて順調に進んでいる。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

新第一塩ビ 株式会社  
千葉工場

#### (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

Handwriting practice lines consisting of five sets of horizontal dashed lines for letter formation.

(その四)

新第一塩ビ 株式会社  
千葉工場

### (3) 自主的取組実績の評価

#### ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

**備考** この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	横山容器工業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

## (2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	1	3	3						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	横山容器工業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
(A)	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（この部分は記載欄で、評価がCの場合は必ず記載すること）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	(株)日本AEパワーシステムズ 千葉事業所
------------	--------------------------

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	1	2	1	2	9				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1について

溶剤の低含有塗料による製品塗装の適用拡大

対策 2について

溶剤缶の揮発防止蓋の取り付けと励行（指導と実施状況の監視）

対策 3について

上塗り残塗料の転用（中塗り塗料として使用率の向上、事業所設備の塗装）

及びシンナー回収機による、廃溶剤からのシンナー回収

(その四)

工場又は事 業場の名称	(株)日本AEパワーシステムズ 千葉事業所
----------------	--------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。